参考資料3

食品ロス等の削減に向けた県内の取組状況

分野	団体等名称	実施中、今後実施予定・検討中 （令和8年度から新たに実施するものには（新）と記載）
生産	JA富山県 女性組織協議会	・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用 ・県内JA女性部でフードドライブ活動を実施する。 ・エシカル消費、食品ロス削減につながる活動の周知。 ・食べきり3015運動の周知と実践。
	全国農業協同 組合連合会 富山県本部	・畜産農家と連携したエコフィード（酒粕等）の活用 ・たまねぎ、にんじん、加工用キャベツなど生産者に向けた栽培研修会の開催や技術指導による規格外品・廃棄品の削減 ・大手コンビニチェーンとの規格外品（小松菜）を活用したおにぎりの開発・販売
	富山県漁業 協同組合連合会	・魚食文化の普及（魚のさばき方教室の開催） ・自主的な資源管理に取組む（供給過多を抑える）
製造	（一社）富山県 食品産業協会	○フードバンク活動促進事業（県の委託事業）：比較的小さな規模、エリアでのモデル事例の構築や検証を踏まえ、食品関連事業者から発生する未利用食品の有効活用を促進するため、さらなる提供事業者の確保に向けた普及啓発やマッチングの推進を通じて、県内でのフードバンク活動の拡大を図る ・（新）食品関連事業者と食品提供先団体へのホームページ活用研修会　R8.11開催予定 ・新規提供元、提供先とのマッチング（情報提供、合意形成、提供品受け渡し）の支援 R8年度（10月現在）　33件　　R7年度　53件 ・WEBページによる情報の提供 R8年度（10月現在）　6件　　R7年度　13件 ・WEBページの改修
流通（卸売・小売・外食）	アルビス株式会社	・ 納品期限の緩和となる商慣習の見直し ・ 真空冷凍パック（海産ミールキット）採用による消費期限の延長 ・ 恵方巻き等の季節商品の予約販売の強化 ・ 少量パックハーフサイズ等の小容量商品の販売と強化 ・ 発注量適正化のための自動発注システムの活用 ・ 期限直前食品の値引き販売をする「もったいないコーナー」の設置 ・ 食材を無駄なく使う“食べきりレシピ”の募集、提案、コンテストの開催 ・ 各自治体、団体と連携したフードドライブの実施（月1回）と 常設フードドライブBOXの設置（4店舗） ・ 30日と15日はご家庭の冷蔵庫内の食品を残さない呼びかけ ・ 手前どりの推進や期限間近商品の優先購入促進キャンペーンへの協力 ・ エシカル消費の啓発 ・ 県の食品ロス削減啓発POP、ポスターの掲示、店内放送等の協力 ・ 生産者から規格外商品含め全量購入
	（一社）日本チェーン ドラッグストア協会	・広報誌等による環境省、農水省からの食品ロス削減に関する協力依頼の周知 ・10月の「食品ロス削減月間」に合わせ、10月～12月の期間で対象商品を取り扱う店頭において食品ロス削減啓発キャンペーンを開催
	富山県商工会議所 連合会	・食べきり3015運動の実践 ・広報誌による周知
	富山県商工会 連合会	・広報誌による食品ロス削減、3015運動の周知・実践
	富山県水産物 商業協同組合 連合会	・小容量販売、バラ売り、総菜等の値引き販売の実施 ・毎年、食ロス・食品廃棄物削減推進県民運動の協力をスローガンに掲げ、組合員に周知 ・食べきり3015運動の周知・実践

分野	団体等名称	実施中、今後実施予定・検討中 （令和8年度から新たに実施するものには（新）と記載）
流通（卸売・小売・外食）	富山県生活衛生同業組合連合会	飲食関係組合加盟店での ・小盛（ハーフサイズ）メニュー等の提供 ・食べきれなかった場合、無料のパックで持ち帰りを実施している ・ごはんのおかわりや小盛から大盛まで選べるメニュー等の提供で食品ロス削減の普及啓発に努める ・仕入れの適正化で原材料廃棄ロス削減を目指す ・食べきり3015運動の実践
	富山県生活協同組合連合会	・他団体と連携してフードパントリー活動の実施 ・組合員に「てまえどり」運動の推進 ・他団体の事業所及びイベントでフードドライブ活動を連携 ・期限間近商品の優先購入推進キャンペーンへの協力 ・小容量販売、バラ売り、総菜等の値引き販売の実施 ・売れ残りによるロスを出さないための、データ（天候、曜日、時間帯等）を活用した仕入れの実施 ・青果物パックセンターの不良品を減らすよう、生産者や取引業者に働きかけ
消費者等	（公社）富山県栄養士会	【医療】 ・備蓄食材をローリングストックとして献立に取り入れ、使用していく ・残食の多い献立の見直しや、おいしい食事作り、病室を訪問し患者さんの嗜好に合わせた食事を提供することで残食を減らす ・食止めや退院の連絡漏れをなくし食事の廃棄を回避できるよう、院内周知に努める ・食数変動の把握に力を入れ、使う分だけ発注し、人数分の調理に努める ・在庫の管理により、無駄な購入を避ける 【福祉（施設）】 ・調理場だけでなく、施設全体の取り組みとして、職員間での食品ロス削減（期限切れに近い食品を持ち寄り、譲る）に努めている ・日々の食数管理の徹底 ・こまめな在庫管理の徹底 ・備蓄食材をローリングストックで献立に取り入れ使用 ・在庫おやつを定期的に「アラカルトおやつ」として提供 ・利用者に見合った喫食量の提供 【福祉（保育所）】 ・子ども達の残食を増やさないよう、適量の提供を心掛け、保育士との情報共有を密にしている ・備蓄食品をローリングストックで使用していく 【地域活動】 ・調理実習の実施の際には、必要な食材を分量どおり用意し、使い切ること ・廃棄する部分は極力減らし、食材を使い切る ・SDGsに配慮した献立を提案し、料理教室で実施する ・（今後の取組みとして）各家庭における防災意識の向上と食品備蓄について、非常食の消費、賞味期限切れによる廃棄が食品ロスとなる事から、備蓄に対して積極的になれない様子が感じられるため、ローリングストックによる消費、賞味期限の管理習慣などを提案していく 【学校健康教育】 ・残食を減らすため、給食委員会による残食調べや、たべキリン運動（食べものを大切にして残さず食べきろうとする富山市の活動）の活動を行ったり、掲示資料を作成したりするなどしている ・規格外の地場産食材を使用する ・給食だより等で家庭でできる食品ロス削減やレシピの紹介 ・教科や給食時間を利用して、食品ロスや好き嫌いをなくすよう指導 ・環境について学んだ学年の生徒が、校内で食品ロスに関するポスターを掲示 【公衆衛生】 ・調理実習時は分量通りの食材を用意し使い切るよう工夫している ・食品ロスを減らす購入、消費の啓発を実施している ・市町村の備蓄品等は、消費期限前に必要な人へ無料提供している ・住民に栄養教室等で災害時の備蓄食品のローリングストック法を啓発している 【研究教育】 ・定期的に「SDGs」をテーマにした取り組みを実施 ・廃棄されることが多いエゴマの搾りかすの有効利用に関する研究を行っている

分野	団体等名称	実施中、今後実施予定・検討中 （令和8年度から新たに実施するものには（新）と記載）
消費者等	（続き） （公社）富山県栄養士会	【勤労者支援】 ・ 連休前などに欠食届を忘れず入力するよう積極的に呼びかけている ・ メニューごとに必要な米量をシビアに計算して炊飯している ・在庫管理の徹底 ・3日前に食数を確認し、発注量を魚1切れでも変更（キャンセル）している ・調味料の賞味期限などを常にチェックし、調味期限切れを防ぐ ・在庫の先入れ先出し ・残食の調査 ・カット野菜を積極的に購入している ・調理ミスによるロスを出さないようにチェック体制の強化を図っている ・鍋の底に溜まりがちな、みそ汁の具材を予め汁椀に盛り付けて鍋に残らないようにしている ・自分の食べたい量をしっかり把握して食べられるように、シャリ弁ロボ（自動計量機）の普及を進め、必要以上の炊飯量を減らしている
	富山県PTA連合会	・県PTA連合会や単位PTAのホームページを活用した周知・啓発 ・食べきり3015運動の周知・実践
	富山県環境保健衛生連合会	・「てまえどり」の周知と推進 ・食品ロス対策を今年度の重点事項とし、各市町村協会に取組みを働きかけ ・フードドライブの開催 ・小中学校を対象とした「環境に関するポスター募集」事業の内容に、「食品ロス」問題を加えて募集 ・食品ロス削減に関する研修会への参加
	富山県消費者協会	・消費生活研究グループ活動目標に、「エシカル消費」（「SDGs」の目標達成に貢献する具体的な消費行動）」の推進として 、食品ロスの削減を明記し、実践行動を促す（具体的には、家にある食材のチェック、使い切れる分だけ買う、すぐに使うものは陳列棚の手前から取るなど、日常の買物に配慮する） ・フードドライブを実施する ・消費生活研究グループによる食品ロス削減の啓発活動等を支援する ・くらしのアドバイザーによる「くらしの相談会」等において「食品ロスの削減」を取り上げるなど、消費者への普及啓発に努める ・消費者大会、みんなの消費生活展、環境フェア等のイベント開催時に、「食品ロス削減」や「フードドライブ」のパンフを配布するなど、啓発普及に努める
	富山県食生活改善推進連絡協議会	・フードドライブの普及啓発を図り各市町村協議会で、年間1～2回実施することを目標に取り組む ・サルベージパーティを各市町村協議会で実施、調理実習が困難なところは、紙上でのレシピを考案するなど各市町村の状況に応じて行う ・各事業における講座と調理実習時に食品ロス削減について説明し、食材を使い切る工夫をした料理を作成するなど、削減に対する意識を参加者（地域住民）に啓発していく 〇フードドライブの普及啓発 ・各市町村協議会の恒例行事として地域に普及啓発していく ・フードドライブの実施日、提供場所、提供品の種類、提供食品の賞味期限の設定、周知の方法（各市町村広報への掲載、ちらしやポスターの作成配布等）、食品の贈呈団体の確定などを確認し実施する 〇サルベージ・パーティの普及啓発 ・過去5年間にわたりサルベージ・パーティー指導者育成講習会を実施、パワーポイントや資料を作成し、サルベージの意味や、パーティーの開催手順、食材の集め方、調理の仕方の講習や実習で得た豊かな知識と経験から、令和5年度から各市町村協議会で状況に応じて実施し地域に普及啓発を図る ・各自家庭で使いそびれている食材を1品ずつ持ち寄り、グループ毎にレシピを考案し調理、食材の異なる使い方の発見や、新メニューの開発につなげるとともに、買い物から片付けまでの作業において、それぞれの場面で削減の工夫について意識を高めるよう啓発していく ・調理実習ができないところは紙上でレシピを考案し、ユニークなメニュー名を付けるなど、将来の実施に向けてシュミレーションする講習会を開催する

分野	団体等名称	実施中、今後実施予定・検討中 （令和8年度から新たに実施するものには（新）と記載）
消費者等	（続き） 富山県食生活改善推進連絡協議会	○ベジブロスの効能普及 ・家庭で捨てている野菜の外葉や皮、根、芯などで作るブロス（出汁）は、抗酸化作用があり免疫力が高まることが知られていることから、各料理に利用することで健康的で、料理の旨味が増すことや、出汁をとった後はポタージュにするなど、食材を丸ごと使い切る料理の普及とレシピの配布を行っている ・令和3年3月発行の「若い世代の食育ガイド」を若い世代を対象にした事業や各イベントで配布し、食品ロス削減、エシカル消費等、SDGsの普及啓発を実施、SDGsの目標【12】「つくる責任　つかう責任」と、【3】「すべての人に健康と福祉を」を重点的に啓発していく ○各世代への普及啓発 ・幼児や小学生、中学生、高校生以上の若者世代、働き世代、高齢世代（シニアカフェ）を対象にした事業（各市町村協議会で年間十数回開催）で、講義及び調理実習（レシピ集、啓発チラシ、食品ロス削減クイズ等を作成、配布）を行い、生産から買い物、片付けまでを踏まえたエコクッキングを普及している（「とやまのeCoクッキング」平成22年に発行、「食材丸ごと使い切り料理コンテストの優秀レシピ集」平成31年発行等で啓発を実施） ・各事業の調理実習において、食材を丸ごと使い切る工夫の仕方を実践している ○地域住民への普及啓発 ・各地区のイベントや公民館単位で開催される講座等で、地産地消の推奨、食品売り場では手前から取るように、またその日に食べるものは見切り品を買うなど、具体的な実践活動を普及している
	富山県婦人会	・消費者庁主催の食品ロス削減推進サポーター育成オンライン講座を受講し、活動中 ・地域の子供たちを対象に「食品ロス削減の取り組み」について、すっきりんごちゃんのDVDやパワーポイントで説明し、各自の取り組みを呼びかける ・食品ロス削減に関する研修会を実施（講演、グループ討議、発表）する ・3015運動実施の啓発を呼びかける ①冷蔵庫の定期的なチェック（毎月15日と30日）で食材の使い切り等 ②宴会時における食べ残し防止のため、開始30分はまず食べ、閉会15分前に食べ残しが無いかチェック ・買い物方法の見直し①必要な量だけ購入　②期限間近な商品から購入　など ・食品ロス削減レシピの募集、実施、広報誌などで紹介 ・サルベージ・パーティの実施
	（公財）とやま環境財団	・小学校に講師を派遣し、食品ロス削減など環境に関する学習プログラムを実施するほか、児童へ副読本を配布する ・フードドライブ実施団体へパネル等の資材の貸出支援を実施する ・サルベージ・サポーターへの活動支援、普及啓発を実施する ・当財団ホームページやとやま環境フェアなどで食品ロス削減の普及啓発を実施する ・食品ロス削減推進サポーター（消費者庁主管）の募集・とりまとめ

食品ロス等の削減に向けた市町村の取組状況

分野	市町村名	実施中、今後実施予定・検討中 （令和8年度から新たに実施するものには（新）と記載）
市町村	富山市	・食品ロス削減の啓発を図るため、イベント開催時に配布する啓発グッズの作成 ・学校現場での食育活動と連携しながら、給食の食べ残しの減少に繋げるため、「たべキリン」シールの活用を促進する(シール配布予定) ・おいしいとやま食べきり運動と合わせて、広報誌への記事掲載やホームページ、出前講座による周知・啓発を行う ・フードドライブの実施（9/26やつおふれあいフェスティバル 、11/15みんなの消費生活展） ・小、中学校、幼稚園、保育所（園）への啓発活動(給食時の校内放送・ポスター掲示) ・イベント（7/12　KNBサマーフェスティバル、来場者約30,000人）へのブース出展 ・3R推進スクール、出前講座、市広報による食品ロスの削減及び生ごみの水きりの呼びかけ ・小学4年生向け社会科副読本による啓発　・ダンボールコンポスト普及啓発の推進 ・地区センター敷地内に設置した生ごみ処理機を活用した生ごみの資源化 ・（新）富山市版もったいない運動の一つとして「もったいない」をテーマにしたポスターコンクールを開催
	高岡市	・フードドライブの実施 ・食品ロス等に関する出前講座や啓発活動を消費者団体に委託 ・食育の推進（市が活動支援している栄養士と連携した食育活動、栄養教諭、学校栄養職員による巡回指導や授業の実施、給食の残食調査を実施し、その結果を踏まえた献立の検討や食育指導、給食だより等による保護者への啓発、高岡市食生活改善推進員養成講座において食品ロス削減の周知啓発） ・嗜好調査及び新献立の作成（高岡市内の幼稚園・保育園の園児の嗜好調査を実施し、新献立を作成する資料として活用し、残食の無いような献立を新たに提供）
	魚津市	・フードドライブの実施 ・学校給食の残食率を各学校に掲示して意識啓発 ・食育の推進 ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・期限間近の備蓄品を防災訓練で市民へ配付
	氷見市	・チラシを担当課の窓口に設置 ・食育の推進 ・生ごみ処理機の購入費補助 ・氷見市環境保健衛生協会と氷見市連合婦人会の共催によるフードドライブ実施を支援
	滑川市	・滑川市公式キッチン（クックパッド）による食品ロス削減レシピの提供 ・広報誌、市ホームページ及び啓発チラシによる食品ロス削減の周知啓発 ・生ゴミ処理機の購入費補助 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化 ・サルベージパーティー（家庭で余り物になる食品を使った料理教室） ・食育の推進（食生活改善推進員の研修会） ・フードドライブの実施 ・環境イベント等での食品ロス削減啓発 ・放課後児童クラブの児童を対象に食品ロスに関する講義を実施
	黒部市	・出前講座や関係会議等での食品ロスに関するチラシの配布 ・食育の推進 ・食生活改善推進連絡協議会が食品ロスについて学び、地区へ伝達 ・フードドライブの実施促進 ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発
	砺波市	・フードドライブの実施促進(イオンモールとなみと砺波市社会福祉協議会との共催) ・市ごみ袋に食品ロスのPR広告を掲載 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化 ・食育の推進 ・広報誌、ホームページによる食品ロス、3015運動の周知啓発
	小矢部市	・小矢部市環境保健衛生協議会と小矢部市で小矢部市社会福祉法人連絡会のフードドライブおやべ事業に加わる ・3015運動を呼びかけるコースターを市内飲食店で配布し、食品ロス削減を周知啓発 ・広報誌による食品ロス対策、3015運動の周知啓発 ・夏休みの応募作品として食品ロス削減啓発ポスター・壁新聞を募集 ・小矢部食品衛生協会へ食品ロス対策助成 ・食育の推進

市町村	南砺市	・フードドライブの実施（市環境保健協議会との共催） ・学校給食の食品ロス（食材廃棄部分を減らす下処理の工夫） ・食品ロス削減に向けた啓発チラシの配布 ・南砺市指定ごみ袋へ使い切り等を啓発する広告を掲載 ・市ホームページによる食品ロス、3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・生ごみ処理機購入費補助 ・廃食用油の資源回収・再資源化
	射水市	・フードドライブの実施 ・市役所食堂に食品ロス削減啓発を呼びかける内容の三角柱を設置 ・夏休みの応募作品として、地球温暖化防止（食品ロス削減・海洋プラスチック問題）啓発ポスターを募集 ・市政出前講座「食品ロス・食品廃棄物の削減」の実施 ・いみず環境チャレンジ10の実施 ・サルベージ・パーティ（ECOキッズスクールinいみず）の実施 ・可燃物収集委託車両への食品ロス削減啓発ステッカーの貼り付け ・指定ごみ袋に食品ロス削減啓発ロゴマークを掲載 ・市ホームページにて食品ロス削減を啓発
	舟橋村	・フードドライブの実施促進 ・広報誌・ホームページによる3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・生ごみ処理器の購入費補助 ・親子向け食品ロス削減に向けた料理教室の開催
	上市町	・広報誌による食品ロスの周知啓発 ・食育の推進 ・小中学生を対象に「かみいち食べきるゾウ運動」の実施 ・生ごみ処理機の購入費補助 ・公立保育所に生ごみ処理機を設置し、堆肥として再利用 ・フードドライブの実施（実施主体：上市町社会福祉協議会）
	立山町	・フードドライブの実施（立山町社会福祉協議会で実施） ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・町内スーパーの、消費期限・賞味期限が近い食品に専用シールを貼り購入を勧めるプロジェクトへの後援（島屋㈱・「ハピタベ」プロジェクト） ・廃食用油の資源回収・再資源化
	入善町	・ゴミの分別に関する出前講座等で食品ロス削減の周知・啓発 ・食育の推進 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化（学校給食） ・広報誌による食品ロス削減、3015運動の周知 ・飲食店に食品ロス削減、3015運動チラシを配布し協力を依頼 ・生ごみ処理器の購入費補助 ・「食品ロスの削減」に関するエコライフモニターの実施
	朝日町	・フードドライブの促進（朝日町食生活改善推進連絡協議会で実施） ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・生ごみ処理機の購入費補助